

長崎大学名誉校友称号第3号を下村 脩氏に授与



下村氏（左）に名誉校友記を授与する齋藤学長
右は松岡理事と中山理事



名誉校友記



挨拶を述べる齋藤学長



謝辞を述べる下村氏

平成19年10月20日（土）に、長崎大学の卒業生で各界において顕著な功績を挙げ、長崎大学の名誉を高めたとする長崎大学名誉校友の称号授与式が中部講堂で行われ、第3号の名誉校友として、下村 脩（シムラ 修）氏に称号が授与されました。

当日は、長崎大学薬学部地域薬剤師卒後教育研修センター講演会があり、同氏も講演が予定されていたため、この講演に先立ち松岡理事及び中山理事立会で、齋藤学長から授与されたものです。

授与後に、齋藤学長の同氏の業績を称える挨拶に引き続き、下村氏からは名誉校友称号授与に対する謝辞が述べられました。

同氏の略歴及び功績は次のとおりです。

長崎大学名誉校友称号授与者の略歴及び功績

名誉校友称号授与者（第3号）

シモムラ オサム

下村 脩 氏

昭和3年8月27日生（79歳）

*長崎大学名誉校友称号授与規則第2条第1号に該当

略 歴

昭和23年	4月	長崎医科大学附属薬学専門部入学
26年	3月	長崎医科大学附属薬学専門部卒業
26年	4月	長崎大学薬学部実験実習指導員
33年	4月	長崎大学薬学部助手
35年	4月	理学博士（名古屋大学）
35年	8月	プリンストン大学研究員（フルブライト グラント, ~昭和38年8月）
38年	9月	名古屋大学水質科学研究所助教授
40年10月		プリンストン大学上席研究員（~昭和57年）
56年		ボストン大学客員教授（兼任）（~平成12年）
57年		ウッズホール海洋生物学研究所上席研究員
平成13年		ウッズホール海洋生物学研究所退職 マサチューセッツの自宅にて研究継続, 現在に至る
昭和35年		フルブライト グラント
平成16年		Pearse Prize（英国王室顕微鏡学会）
平成17年		Emile Chamot Award（イリノイ州顕微鏡学会）
平成19年	1月	朝日賞（朝日新聞文化財団）

功 績

下村 脩氏は、長崎医科大学薬学専門部を卒業後、本学の助手となり、名古屋大学で理学博士を取得しました。フルブライト奨学金により、米国プリンストン大学に留学の機会を得、ライフワークとなるオワンクラゲの生物発光とめぐり合いました。下村氏は、世界で初めてオワンクラゲより発光タンパク質イクオリンと緑色蛍光たんぱく質GFPを発見し、発光機構を解明しました。

その後、種々の発光生物の科学的解明を行い、生物発光分野での世界的な研究者となっています。特にGFPの発見により、生きた細胞内の特定の場所や機能タンパク質を蛍光標識して観察できるため、遺伝子発現のレポーターなどに多用されており、分子生物学の分野に大きな貢献をされています。下村氏の研究成果の重要性は、この2年間ノーベル医学生理学賞にノミネートされていることや、平成18年度の朝日賞を受賞されたことでも証明されています。

このように、下村氏は本学を卒業後、米国において世界的な科学者として活躍し、本学の名誉を高めた数少ない卒業生の一人であります。